



## 大正

- 12・11 水俣町役場において創立委員会を開催
- 12・12 水俣信用組合設立認可申請
- 13・1 有限責任水俣信用組合の設立認可
- 13・2 第一回通常総会を永楽座にて開催  
組合員総数 219 名、口数 719 口  
初代組合長に戸星光三選任
- 13・3 役員会を開催し、専務理事小笠原作太郎宅を事務所とし 4 月 1 日より事業開始を決定
- 13・4 有限責任水俣信用組合として事業開始
- 13・7 臨時総代会を開き保証責任熊本県信用組合連合会に加入。

## 昭和

- 2・10 戸星光三組合長辞任、宮田庄太郎第二代組合長就任
- 4・1 総会に代わる総代会を設ける
- 5・1 宮田庄太郎組合長辞任、深水吉毅第三代組合長就任
- 5・2 事務所を水俣町大字陣内松尾角蔵宅に移転
- 8・7 河川改修のため、事務所を水俣町大字江添 158 番地に移転
- 11・3 熊本県下産業組合大会において会長関屋延之助閣下より表彰を授賞
- 11・7 保証責任水俣信用組合に組織変更
- 18・9 市街地信用組合法による水俣信用組合に組織変更

## 昭和初期

## 昭和10年代

- 21・7 金融機関経理応急措置法により特別決算
- 22・7 再建整備法により旧勘定、新勘定の財産目録、貸借対照表作成
- 22・8 庶民金融公庫の代表業務開始
- 23・3 再建整備法による最終処理認可申請の認可
- 24・4 水俣市丸島 2342 番地に丸島支店を開設
- 24・10 芦北郡佐敷町大字佐敷 245 番地に佐敷支店を開設
- 25・4 中小企業等協同組合法による水俣信用組合に組織変更
- 26・3 佐敷支店事務所を芦北郡佐敷町字下 255 番地の 1 に移転
- 26・10 信用金庫法により組織変更し水俣信用金庫となる。理事長に深水吉毅就任
- 27・7 水俣市浜 2837 番地（現水俣市浜町 1 丁目 1-1）に本店を移転
- 27・10 深水吉毅理事長逝去。松尾角蔵第四代理理事長就任

- 28・2 出資一口の金額を五百円に変更
- 28・11 中小企業金融公庫の代理業務開始
- 29・5 芦北郡津奈木町大字岩城 2130 番地に津奈木支店開設  
内国為替業務開始
- 33・12 調整勘定閉鎖認可
- 34・10 中小企業退職金共済事業団の代理業務開始
- 35・11 佐敷支店事務所移転（芦北郡佐敷町佐敷下町 280 番地の 1）
- 36・1 全国信用金庫連合会の代理業務開始
- 36・4 計石出張所開設
- 37・7 津奈木支店新築移転（芦北郡津奈木町岩城字浜崎 2090-1）
- 38・9 芦北郡田浦町小田浦 1361 番地に田浦支店を開設

## 昭和30年代

- 38・10 林業信用基金の代理業務開始
- 39・5 八代市、人吉市、八代郡、球磨郡へ地区拡張
- 39・5 日本不動産銀行の代理業務開始
- 40・4 松尾角蔵理事長辞任。藤本光男第五代理理事長就任
- 40・9 丸島支店事務所新築落成
- 40・10 八代市本町 2 丁目 5 番 27 号に八代支店開設
- 40・12 小規模企業共済事業団の代理業務開始
- 41・10 田浦支店事業所新築移転（芦北郡田浦町大字小田浦字洲崎 787-27）
- 42・4 建築業退職金共済組合の代理業務開始
- 42・9 みなしん杉の子会発足
- 42・10 人吉市五日町 23 番地に人吉支店開設
- 43・2 環境衛生金融公庫の代理業務開始  
日本長期信用銀行の代理業務開始
- 43・5 住宅金融公庫の代理業務開始  
渡辺太賀次、社団法人全国信用金庫協会理事に就任（～50・3）
- 45・1 計石出張所廃止
- 45・4 八代市通町 7 番 11 号に八代出町支店を開設
- 45・6 宇土市、宇土郡、上益城郡、下益城郡へ地区拡張
- 46・6 人吉支店事務所新築移転（人吉市五日町 28 番地の 2）
- 46・11 有明信用金庫と合併。名称を熊本中央信用金庫に変更。地区も天草、阿蘇、菊池郡市及び鹿本郡の一部を除く県下一円となり、店舗も玉名支店、伊倉支店、西部支店、長洲支店、荒尾支店、中央支店が加わり、14 ヶ店となる。会長渡辺太賀次、理事長藤本光男就任

## 昭和40年代

- 46・11 預金量 100 億円達成
- 47・5 八代支店事務所新築移転（八代市本町 3 丁目 5 番 23 号）
- 47・6 熊本市中唐人町 1 番地に熊本支店を開設
- 47・9 菊池郡市へ地区拡張
- 48・4 中央支店新築移転（荒尾市川登字辰崩 1868 番地 4）
- 48・9 医療金融公庫の代理業務開始
- 48・10 創立 50 周年記念式典  
鹿児島県出水郡長島町へ地区拡張
- 49・11 日本銀行歳入代理店業務取扱い開始
- 50・2 清水支店開設
- 51・12 平田支店開設
- 53・9 帯山支店開設
- 54・5 預金量 500 億円達成



昭和 40 年代の通帳証書



昭和50年代

- 54・2 大江支店開設
- 55・5 前田止第六代理事長就任
- 55・6 本店新築開設（熊本市大江本町）。旧本店を水俣支店に名称変更。熊本支店を唐人町支店に名称変更。大江支店廃止
- 56・3 全店オンライン加盟完了
- 56・4 新本店の建物が、熊本市優秀建築物として表彰
- 57・9 大牟田市へ地区拡張
- 59・2 両替業務開始
- 59・5 前田止、社団法人全国信用金庫協会理事に就任。（～63・8）
- 59・12 健軍支店開設
- 61・1 新大江支店開設
- 61・10 錦支店開設
- 62・7 玉名支店新築オープン
- 62・12 預金量 1,000 億円達成
- 63・5 第三次オンライン開始
- 63・8 岡本三壽男第七代理事長就任

平成

- 元・2 信用金庫の完全週休 2 日制スタート
- 2・6 岱明支店開設
- 3・2 サンデーバンキング開始
- 3・5 伊倉支店新築オープン
- 3・7 松江支店開設
- 4・9 水俣支店新築オープン
- 5・5 山口逸雄第八代理事長就任  
湯浦出張所開設
- 5・11 創立 70 周年記念式典  
岡本三壽男元理事長が「黄綬褒章」受章
- 8・6 戸島支店開設
- 8・10 唐人町支店を本店へ統合
- 9・5 前田米藏第九代理事長就任
- 10・7 梅林文洋第十一代理事長就任
- 10・9 年金相談会開始
- 10・10 健軍支店を本店営業部に統合
- 11・3 郵貯 ATM 提携開始
- 11・6 信金テレホンバンキングサービス開始  
第 2 回信用金庫社会貢献賞特別賞受賞  
デビットカード取扱開始
- 12・3 しんきんゼロネットサービス開始
- 12・12 しんきんゼロネットサービス開始
- 13・1 投資信託窓口販売業務開始
- 13・3 スポーツ振興くじ払戻し業務開始
- 13・4 損害保険窓口販売業務開始
- 13・6 均等推進企業熊本労働局長賞受賞

平成

平成10年代

- 14・4 藤本正明第十二代理事長就任
- 14・10 生命保険窓口販売業務開始  
インターネットバンキング業務開始
- 15・3 個人向け国債取扱い開始
- 15・10 丸島支店を水俣支店へ、新大江支店を本店営業部に統合
- 15・11 山口康博第十三代理事長就任
- 15・12 創立 80 周年
- 16・10 ビジネスマッチング交流会開催
- 18・6 淵上健一第十四代理事長就任
- 18・8 コラボ産学官熊本支部設立
- 20・3 渉外支援システム導入
- 21・6 学資保険、標準傷害保険取扱い開始
- 22・9 熊本県内 4 信用金庫合同第一回しんきん個別商談会 I N熊本開催
- 23・10 田浦支店、湯浦出張所を佐敷支店へ統合  
岱明支店を西部支店へ統合
- 24・6 沼田雄一第十五代理事長就任
- 24・11 山口康博元理事長が「瑞宝双光章」を受章
- 25・7 ロアッソ熊本への協賛
- 25・10 創立 90 周年記念式典・特別講演会
- 25・11 八代支店新築オープン
- 26・2 葦北鉄砲隊の活動支援を開始
- 26・4 淵上健一元理事長が「旭日双光章」を受章
- 26・10 「くまもと夢の物産市」を初開催
- 27・3 「くまもと県南フードバレーフェスタ」を初開催
- 28・4 熊本地震発生
- 28・11 熊本県から「ブライツ企業」の認定を受ける
- 29・4 中央支店新築オープン
- 29・8 中央支店に電子記帳台を導入
- 30・9 熊本ヴォルターズへの協賛

平成20年代

令和

- 元・11 通町支店を八代支店へ統合
- 2・5 預金量 2,000 億円達成
- 2・6 岡本浩幸第十六代理事長就任
- 2・7 熊本豪雨発生（佐敷支店、人吉支店浸水被害）
- 2・11 沼田雄一前理事長が「黄綬褒章」を受章
- 3・1 火の国サラマンダーズへの協賛
- 3・11 人吉支店リニューアルオープン
- 5・2 玉名支店を西部支店内に移転（店舗内店舗）
- 5・11 創立 100 周年記念式典・特別講演会
- 5・12 荒尾支店を中央支店内に移転（店舗内店舗）

令和



水俣信用金庫時代のチラシ



昭和34年頃「定期預金抽選会」

